

諏訪湖のコハクチョウ(その4)

林 俊 夫*

Bewick's Swans in Lake Suwa — 4

Toshio Hayashi

Summary: At Lake Suwa the pair of Bewick's Swan, *Cygnus columbianus bewickii* wintered their 8th winter with their four cygnets, and also one subadult group swans (3 second winter birds) wintered in 1981. I observed their behaviour and group construction, so I report some topics about them.

はじめに

諏訪湖では昭和56年度 Suwao と Suwako の 2 羽のコハクチョウが幼鳥 4 羽を連れて 8 度目の越冬をした。他の 3 羽の亜成鳥も飛来した。この家族群と亜成鳥群の越冬条況について簡単に報告する。

1981年に諏訪湖に渡来したコハクチョウの様子は次の通りである。まず、1981年10月31日に2羽の亜成鳥 (Sankaku と Kabin) が飛来した。次に11月11日に8年目の飛来の Suwao と Suwako のペアが幼鳥 4 羽 (Itchan, Maruchan, Sanchan, Tongari) を連れて飛来した。そして、11月16日さらに亜成鳥 1 羽 (Ku wagata) が飛来した (Fig.1,2,3.)。その bill rattern を調べてみたら、亜成鳥 3 羽は、それぞれ前年の幼鳥 3、4、5号の第2冬の飛来であることがわかった (Fig.4.)。3羽の亜成鳥と6羽の家族群は、飛来当時は大体いっしょに群れて行動していたが、やがて亜成鳥 3 羽は、家族群 6 羽と別行動するのが目立つようになった (Fig.5,6.)。亜成鳥 3 羽は、家族群 6 羽とは別の場所で採餌や休息を行うこともあり、ある場合には亜成鳥 3 羽は家族群に採餌の場所や休息の場所を追われるような場面も見られた。一方、そうかといって全然別になるのでもなく、9羽全部が仲よく採餌や休息をする場合も多かった。こうしてこの9羽は57年3月30日まで滞在し、そろって渡去した。筆者は、本年のこの家族群と亜成鳥群を観察して多少の知見を得たが、ここでは、彼等の行動の一部についてのトピックを断片的に報告する。コハクチョウの飛来地の最南端の一つである諏訪湖での一家族群と一亜成鳥群のみの事例であるので、これを一般化して考えることには問題があると思うが、多数飛来地での事例と対比して見ていただき、いろいろ教えていただきたいと思う。

* 〒394 岡谷市本町 2-6-50.

2-6-50 Honcho, Okaya City 394.

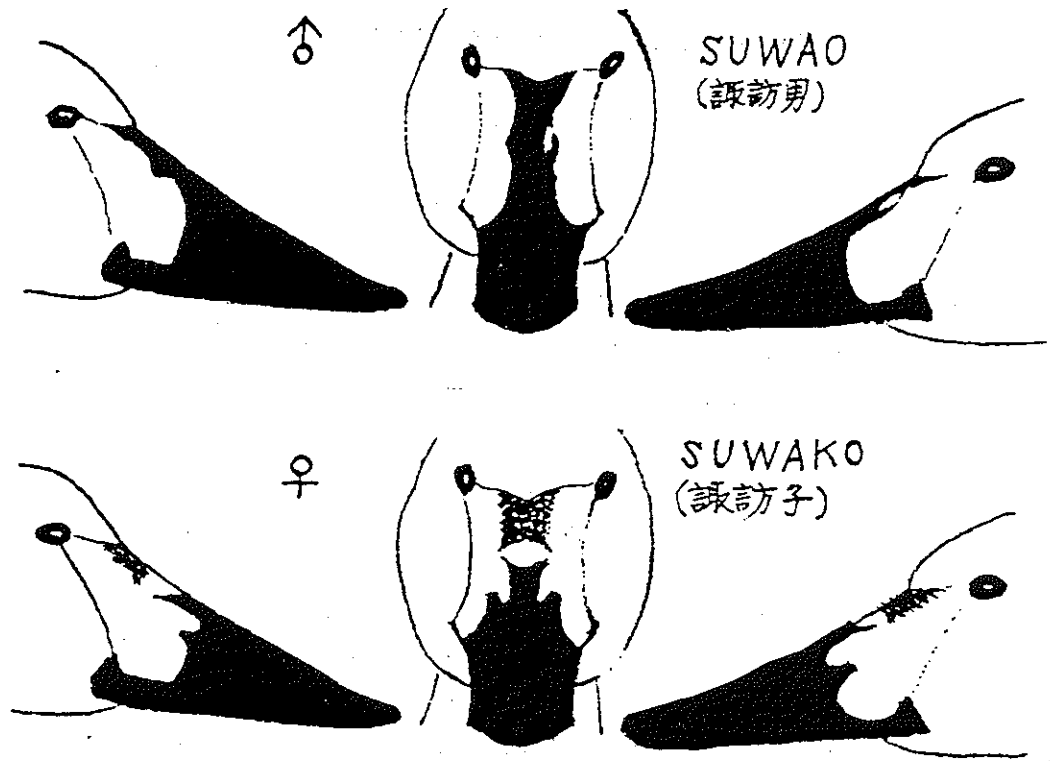


Fig.1. The bill patterns of adult Bewick's Swans at Lake Suwa from November 11, 1981 to March 30, 1982 with their 4 cygnets.

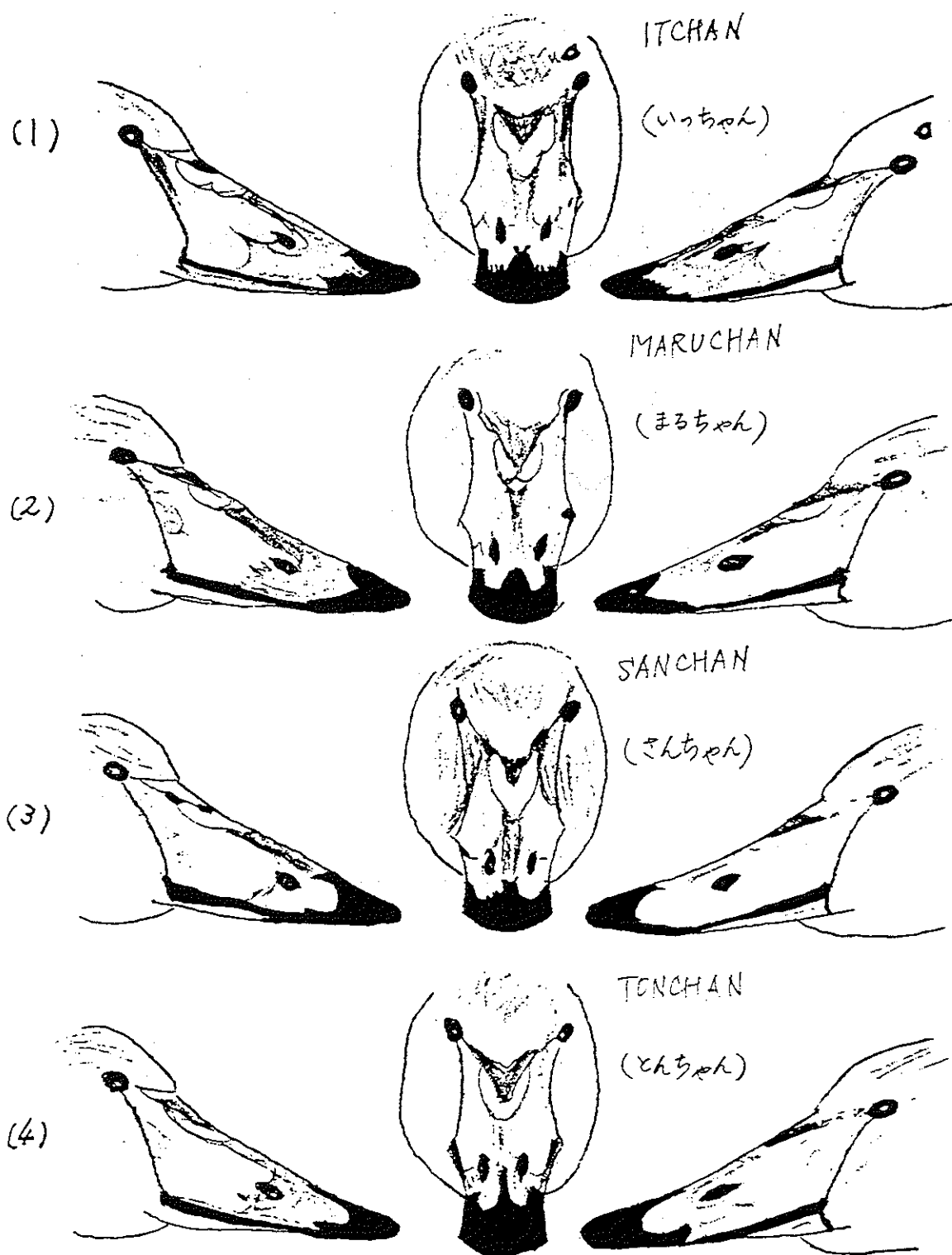


Fig.2. The bill patterns of Bewick's Swan's cygnets at Lake Suwa in 1981(20 November).

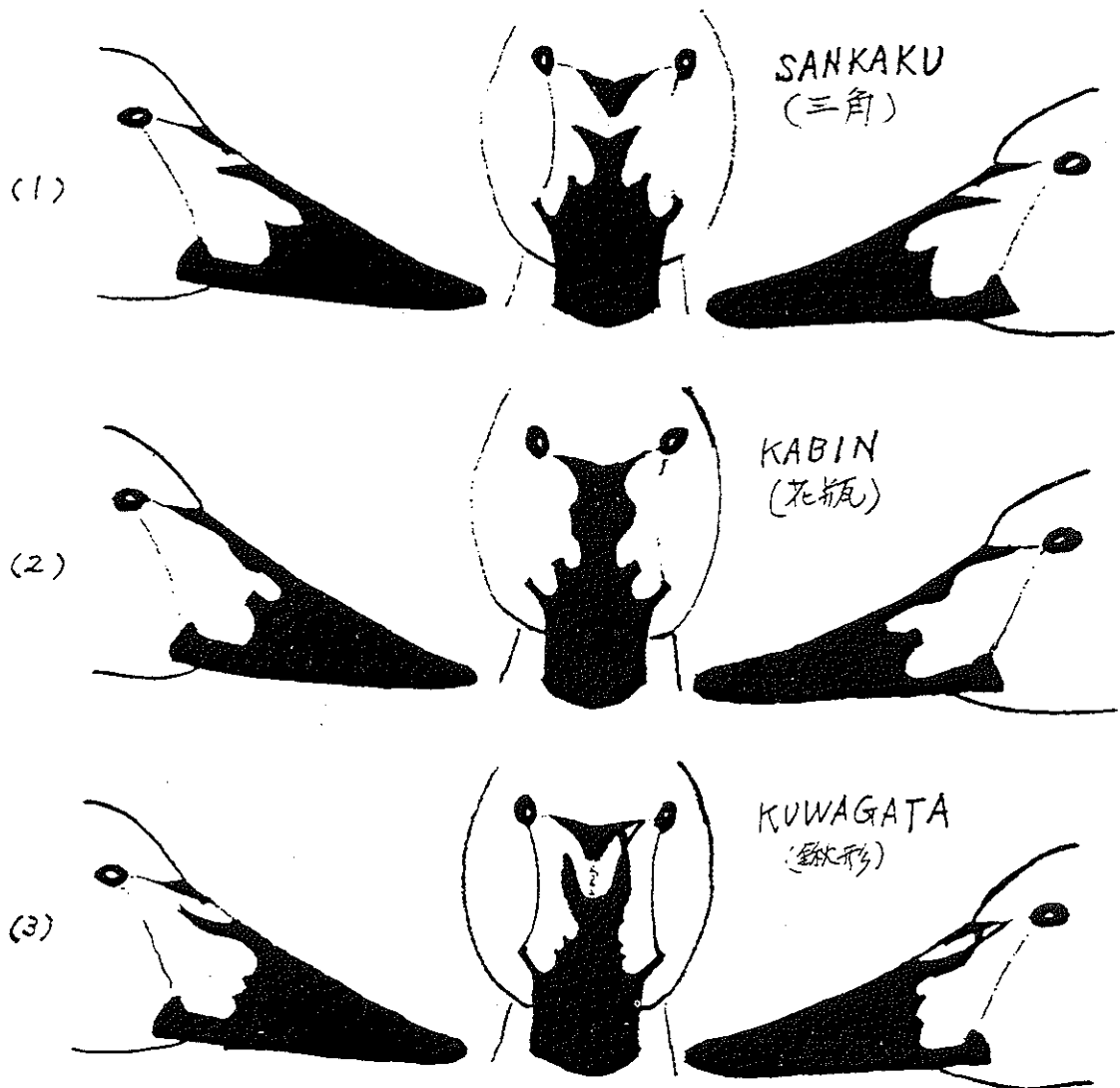


Fig.3. The bill patterns of sub-adult Bewick's Swans at Lake Suwa in 1981. They make a sub-adult group. (Sankaku and Kabin wintened their 2nd winter from October 31,1981 to March 30,1982,and Kuwagata wintened his 2nd winter from November 16,1981 to March 30,1982).

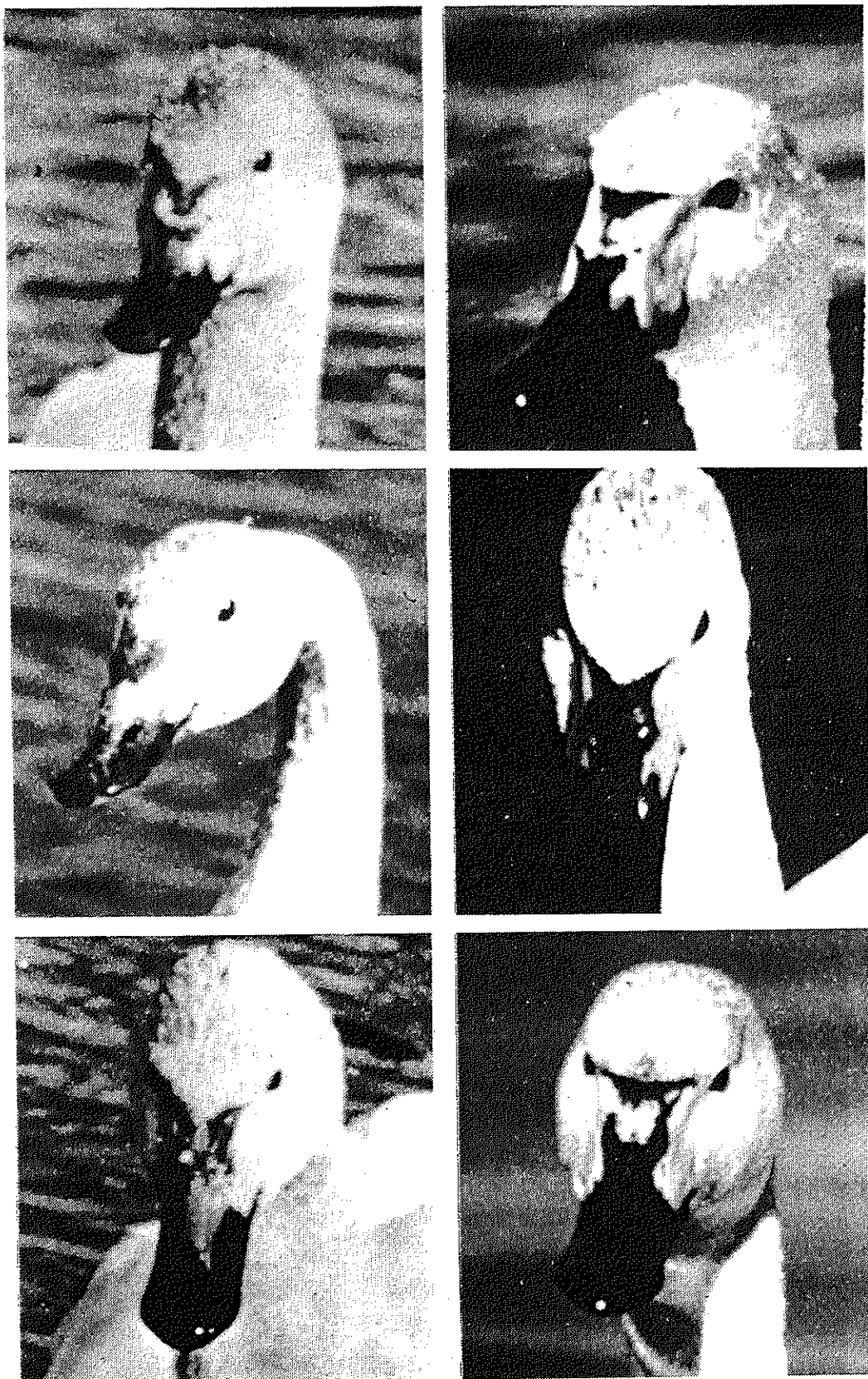


Fig.4. Development of the bill patterns in the first winter to the second winter of the 1980 cygnets. Top now, Saikaku; second now, Kabin; bottom now, Kuwagata.

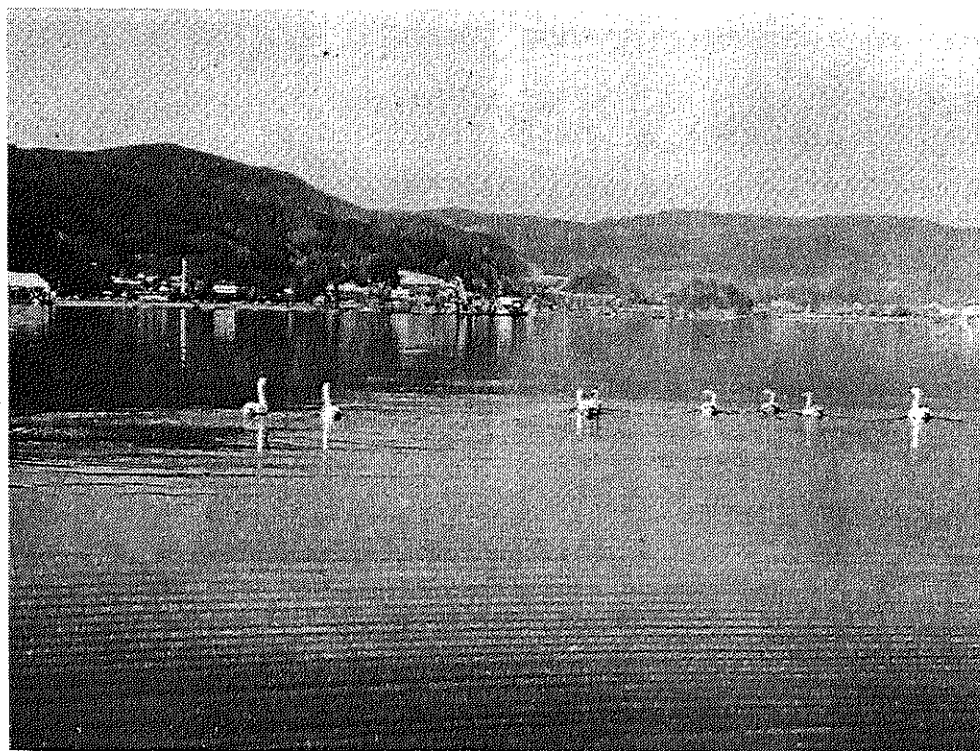


Fig.5. Left is 2 sub-adult birds (Sankaku,Kabin)and right is the family group (4 cygnets swimming between their parents). (12 November 1981,on off coast of the cape Yoshizaki) (Ku wagata(sub-adult) joined the group on November 16)

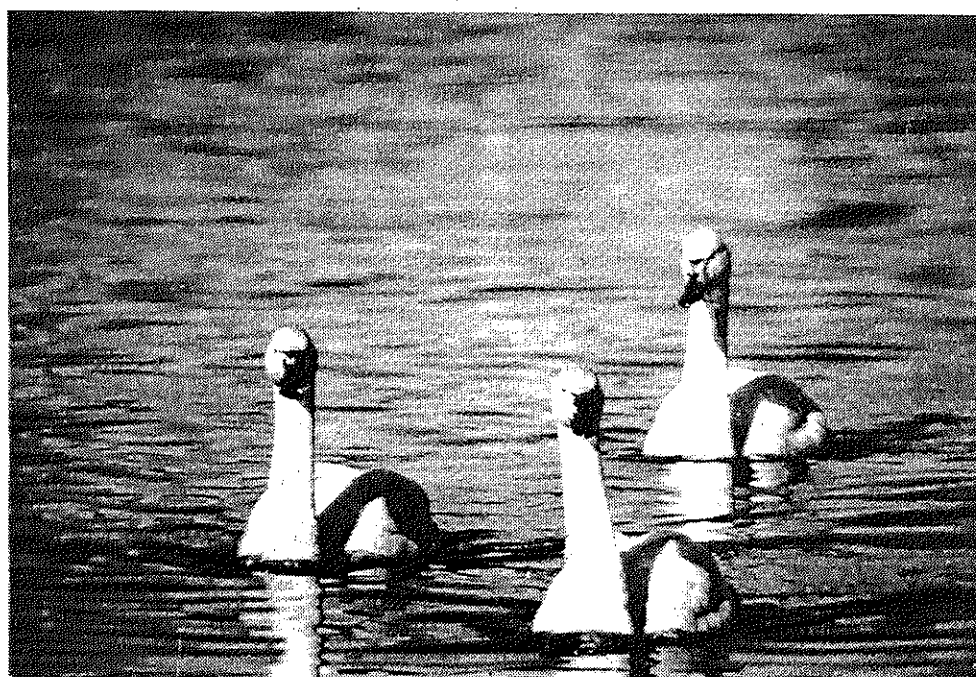


Fig.6. The sub-adult group of 1981. From left to right: Kuwagata, Kabin,Sankaku(November 20,1981)。

観察結果

- 1981年11月18日、横河川河口において、家族群6羽が河口に深く入りこんで採餌していた。その様子を見ると、Suwakoと幼鳥4羽は一団となって盛んに採餌していたが、Suwaoは少し離れた湖水に近いところで見張りをされていて自分はほとんど採餌しない。その内に川岸の道路を大型のトラックが大きな音を立てて進んできた、するとSuwaoが先頭に立って家族群は湖水の方へ避難した (Fig.7,8.)。この時亜成鳥3羽は河口の入口辺で別に採餌していた。
- 1と同じ日、横河川河口の中洲で亜成鳥3羽が休息していた。家族群は別のところで採餌していたが、その内家族群も中洲へ来た。すると亜成鳥3羽は中洲を離れて少し離れたところで採餌を始めた (Fig.9.)。似た場合で、家族群の親鳥が亜成鳥群に攻撃的な様子をして場所をとるところを見たこともある。場合によると幼鳥の1羽が、亜成鳥に攻撃を加えて場所を追うようなこともあった。

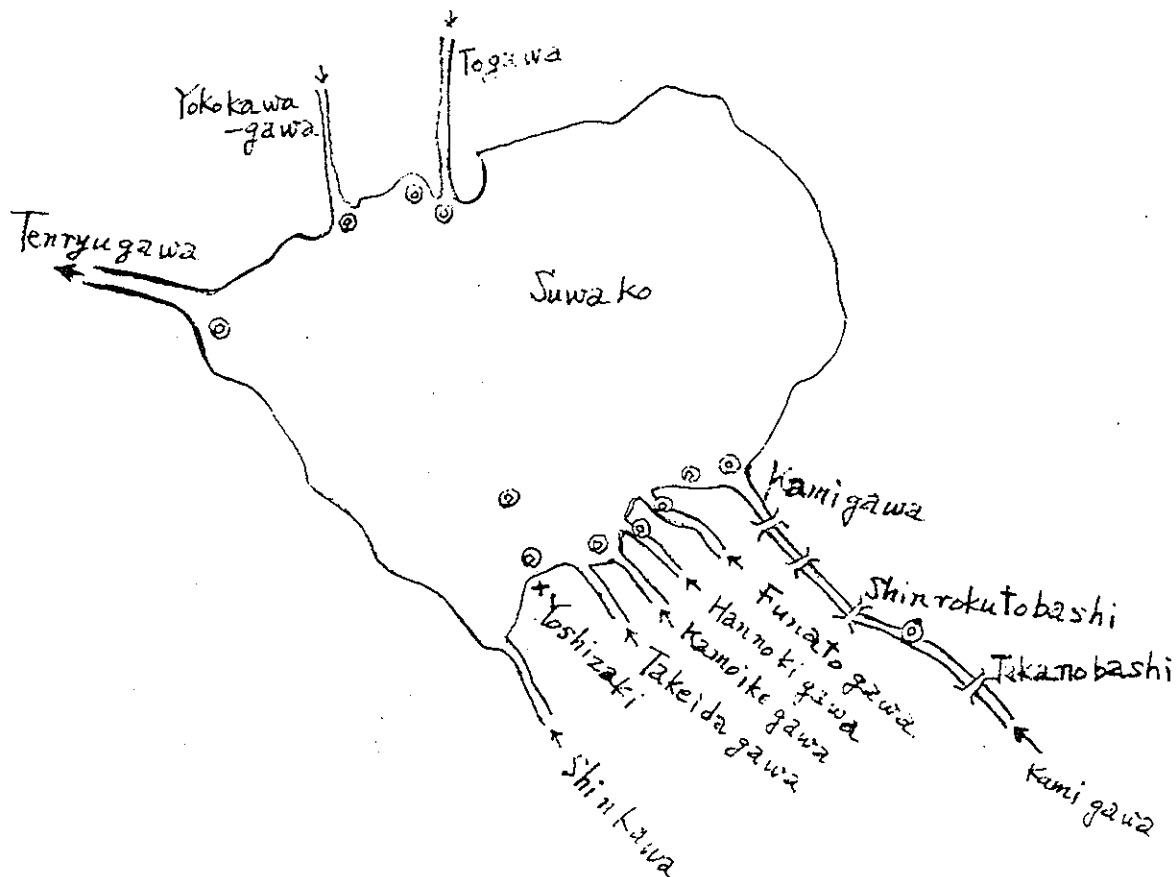


Fig.7. The movements of Bewick's Swans at Lake Suwa in the winter of 1981. The places where the swans were observed are indicated by double circles.



Fig.8. The family group of 1981. Suwao (male) keeping an eye on the family. Suwako (female) and her 4 cygnets feeding at behind (18 November 1981, on Yokokawagawa estuary).

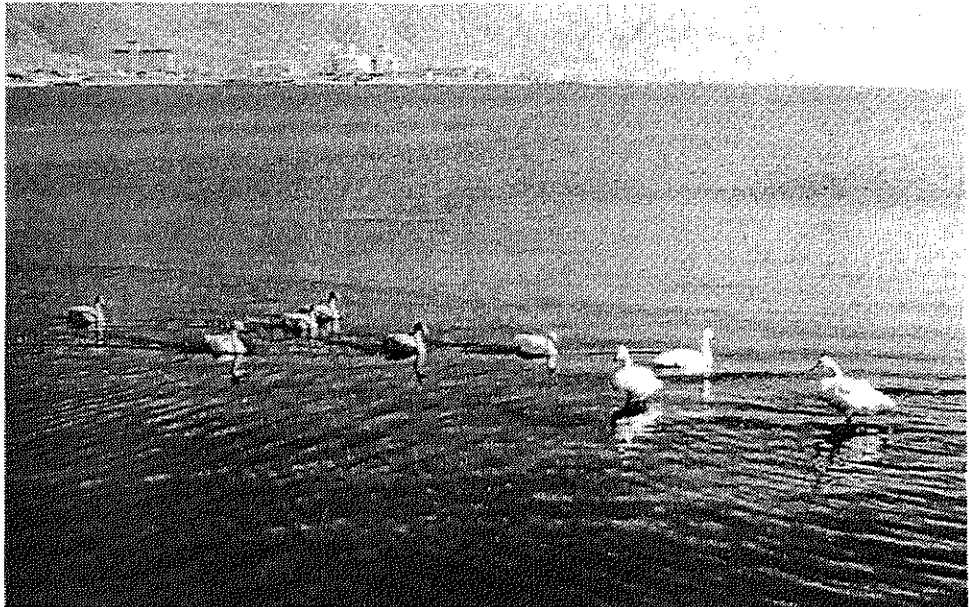


Fig.9. Right 3 birds are sub-adult group. Family group swimming into resting place of sub-adult group, then sub-adult group swim off to feed at another place (18 November 1981, on Yokokawagawa estuary).

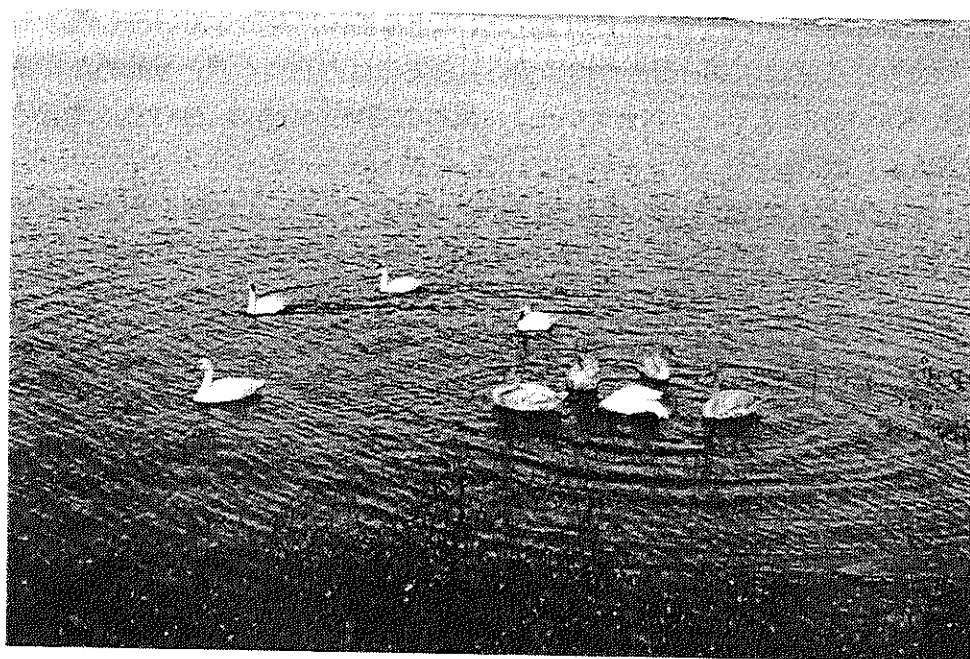


Fig.10. The family group (6 birds) at right and 3 subadult birds going to their resting place are left. Centre of 4 cygnets is Suwako (female) and behind is Suwao (male). Suwao keeping an eye on the family and take care of 3 sub-adult birds swimming into his territory. 3 subadult birds from left to right: Kuwagata, Kabin, Sankaku (20 November 1981, on coast of the cape Yoshizaki).

3. 11月20日よし崎沖で9羽が入り交って採餌していたが、その中に6羽の家族群は岸に来てかたまって休息した。しばらくして、3羽の亜成長も岸の方へ来た。すると、Suwaoは警戒体勢に入り、泳いで来る3羽を監視するようだった。3羽の亜成鳥は家族群の休んでいるところを迂回して少し離れたところへ行って休んだ (Fig.10.)
4. 12月23日午後、家族群6羽は武井田川先の湖上にいて、亜成鳥群3羽は舟渡川にいた。
家族群6羽が飛びたつたので後をついて行くと、家族群は二つに分れて、2羽 (Suwaoと幼鳥1羽)は舟渡川の亜成鳥群のそばに降り、4羽 (Suwakoと幼鳥3羽)は舟渡川河口の橋を間にして湖上の方に降りていた。互いに呼び合っていたが、その中に舟渡川に降りた2羽は飛び立って橋を越え、湖上の4羽に合流した。そしてこんどは6羽がいっせいに飛び立って橋を越え舟渡川の亜成鳥群のそばへ降り9羽は互に入り交って鳴き合ってから採餌を始めたが、亜成鳥群3羽は家族群6羽と離れた場所に移って採餌していた。
5. 1982年1月11日、よし崎沖で全9羽が採餌していたがその中の家族群6羽は岸に来て休み、亜成鳥 Kuwagata もその後をついてきて家族群の端の方で休んだ。しかし亜成鳥の Sankaku と Kabin は沖で盛かんに採餌していた。
しばらくして、この2羽が飛び立ったが、7羽の方へは来ないで、鴨池川河口の岸に上り、仲よく身つくろいをしていた。
6. 1982年1月16日、よし崎沖で9羽が入り乱れて採餌していた。その内に Kabin が1羽だけで岸へ泳いできた。数日前岡谷市で重油を川へ流したものが諏訪湖へ流入し、湖水が汚染した。その除去は一応行われたが、多少湖上に残ったものがあった。Kabinの体をよくみると羽毛に

黒い大小の班点の汚れがついていた。Kabin は岸に上り盛んに身づくろいをした。すると、Sankaku も沖の群れを離れて Kabin の横に泳いできてやはり身づくろいを始めた。Kabin ほどではないが Sankaku もやはり汚れていた。その中に Kuwagata も来て、3羽が一団となって身づくろいをしていた。

7. 1月29日、朝6時、亜成鳥群3羽は横河川の出先に眠っていた。家族群6羽はそれより約1km離れた砥川 (Togawa) 河口に眠っていた。その日14時50分までは、この両群は離れて採餌や休息をしていたが、14時50分には亜成鳥群3羽は砥川河口に飛来し家族群と合併した。そしてその夜は9羽いっしょに砥川より少し横河川の方へ寄った湖上で眠った。その夜は、寒さが酷しく、諏訪湖は全面結氷した。1月30日朝、9羽は氷上に眠っていたが、その日は、氷上を多少移動しただけで、採餌もせずずっと氷上で休んでいた。
8. 2月9日、朝7時、亜成鳥3羽と幼鳥1羽が上川中流の氷上にいた。どうもこの幼鳥1羽は昨夜家族群と離れて亜成鳥3羽といっしょに過したらしい。7時30分この幼鳥は1羽だけで、3羽の亜成鳥が「コウ、コウ」と引き止めるように鳴くのを振り切るように飛び立ち上流に向かって飛んだが、やがて引き返して来て3羽の上空を河口に向かって飛び去った。しばらくして、こんどは3羽の亜成鳥も同じように上流に向かって飛び立ち、また引き返してきて河口に向かって飛去した。河口に行ってみると、この4羽は一団となって氷上に休んでいた。8時頃、上流方面から家族群5羽が飛来し、先の4羽とは少し離れたところに降りた。すると先の幼鳥の1羽は、のこのこと氷上を歩いて行って家族群に加わり6羽1団となって休み、亜成鳥群3羽は相変わらず前の所休んでいた。そこへヘリコプターが飛来し上空を飛びまわった。すると亜成鳥3羽は家族群の方へ寄り9羽が一団となった。
9. 3月23日、8時頃岸で9羽がいっしょに休んでいた。8時5分亜成鳥3羽が採餌のため沖へ泳いで行った。少し後(8時8分)こんどは Suwao と Suwako のペアだけが亜成鳥群の後を追うように沖へ出ていった。しかし、幼鳥4羽はまだ悠々と休んでいた。8時11分幼鳥1羽が泳ぎ出し沖へ向うと1分おきくらいにつぎつぎに幼鳥が出発し、最後は8時14分ころ出発したが、だんだんに後のものが追いつき、4羽横1列に並んで、沖で採餌していた先発の亜成長や成鳥のところへ行って採餌した。幼鳥と親鳥が短時間ではあるが離れ離れに行動するのを見たのは初めてである。

飛去の日も近く、子離れの時期が近いことの兆候ではないかと思った。

10. 同じ3月23日、11時ころ、やはり岸で全部が休んでいた。その中に幼鳥1羽 (Sanchan) が盛んに「クウクウ」鳴いて、沖へ出たいというように動きだした。他の鳥たちは、知らん顔で休んでいる。そして Sanchan はがまんできないというように沖へ向って泳ぎ出した。そして Suwao が後に続いて泳ぎ出した。すると Suwako が「コウコウ」と大きく鳴いた。これを聞くと Sanchan と Suwao は引きかえしてきた。そして Suwako はなお「クウクウ」と鳴いていた。その内に皆が動き出し、「クウクウ」と鳴き合っていたが、その内に「コウコウ」と高い鳴声と共に全員がだんだんに飛び立ち沖の採餌場へ着水した。移動の決定権を Suwako が持っているように思えた。

以上諏訪湖のコハクチョウの56年度の越冬状況の報告とする。

なお、Suwao と Suwako のペアはこれで8度目の越冬であり、多分来冬も飛来するものと思われる。その今までの初認、終認は 表1の通りである。飛来、飛去のコースは全然分らないが、

新潟県から信濃川を上るコースと猪苗代湖から本州中央を来るコースが考えられる。この時期、各地の観察の中で、このペアの bill pattern からこの家族群を発見することは必ずしも不可能ではないように思えるので、諸賢のご留意をお願いしたい。

Table 1. Arrival day and fly off day of pair Bewick's Swans
(Suwao, Suwako) at Lake Suwa.

Season	First observed	Last observed
1974-7	11 Nov.	1 Apr.
1975-7	11 Nov.	16 Mar.
1976-7	26 Nov.	28 Mar.
1977-7	14 Nov.	1 Apr.
1978-7	23 Nov.	23 Mar.
1979-80	13 Nov.	21 Mar.
1980-8	11 Nov.	8 Apr.
1981-8	11 Nov.	30 Mar.